

二つの行進横断幕が合流し、四国コースの国民平和行進が集結！

香川県内の参加者527名 首長のペナントは15本！！

行進支援カンパ： 23,935円 行進署名：23筆

今にも降り出しそうな雨の中の行進となりました。「原爆の火」は今回参加の一番若い原田唯君（小5）に持ってもらいました。予定より早く11時半には集結地点に到着しました。徳島県からの行進団と四国コースの集結集会を開きました。

猪本百合子徳島県原水協事務局長が進行しました。猪本さんは青い空を子どもたちに残そうと歩いてきたが、今日はあいにくの雨となったと切り出しました。そして5月6日スタートして2コースに別れ、今日徳島・香川で合流、そして岡山から8月4日に広島へとつながると説明。参加者に四国大会・世界大会への参加を呼びかけました。

また参加者を代表して、黒羽真実さんは、合流集会は初めての参加でこれからはいろんなコースを歩きたいと感想を述べました。

香川県の行進報告：3項目で特徴報告

<草の根での初参加者>

坂出市の教会シスターや高松市でのコープかがわの地域理事が初めて参加、とりわけコープかがわは今年高松市内で7月に平和行進を計画、この行進にお返しのエール交換があると報告。2年前から定着した東かがわ市職労の挨拶に続き、新しい草の根の共同が広がっています。

<自治体の変化>

自治体の激励挨拶の定番は「平和行進のもつ意義を高く評価すること」でした。それが三木町や坂出市・東かがわ市の挨拶では、ともに平和活動で共同しようと強調されたことです。

<おもしろマップとスタンプラリー>

どうすれば行進参加者を増やせるかの協議の中から、初めて作ったと報告。



徳島・香川合流四国コース
の集結集会